

梶山理事長・学長 卒業式式辞

平成二四年度

福岡女子大学第六十回卒業証書・学位記及び大学院第十九回学位記授与式

キャンパスの桜も満開で、皆さんの門出を祝福しています。平成二四年度学部卒業生および大学院修了者の学生の皆さん、ご卒業及び修了おめでとうございます。福岡女子大学で教育を受け、自己研鑽され、福岡女子大学の学生として誇りを持って晴れて社会に巣立られる皆さんを前にして、私ですがすがしい気持ちになっています。また、公務ご多用にもかかわらず卒業式・修了式にご臨席賜りました福岡県副知事 海老井悦子(えびい えつこ)様を始め、ご来賓の方々に福岡女子大学を代表して、厚く御礼申し上げます。

皆さんが福岡女子大学で人間性、社会性、国際性を身に付けるための教育を受け、さらに専門的な研究の指導を受けて、学部卒業あるいは大学院修了という輝かしい到達点に達することができたのは、学生の皆さん自身の努力の賜であることは勿論ですが、皆さんの周りの方々のお陰であることも忘れてはなりません。経済面から精神面まで支えていただいたご家族の愛情溢れる支援、大学で人間的、社会的に独立できるように教育・研究の指導をしていただいた教職員の励まし、人の心の温かさと痛み、友情とは何かを教えてくれた先輩、友人の支えを忘れてはなりません。

今、皆さんは卒業式という荘厳な場で、福岡女子大学で何かを成し遂げたいという達成感と満足感に浸っておられると思いますが、もう一度、福岡女子大学で何を学び、何を身に付けたか、思い起こしてみましょう。福岡女子大学の教育の目的は、人間性、社会性、国際性と専門性を身に付けた学生を育成することです。この全てに共通して必要な素養として、自分で問題を見つけ、自分自身で考え、自分で問題を解決できる、自己啓発教育が不可欠であります。自己啓発教育でまず重要なことは、皆さんの身の周りで起こる様々な変化、例えば、政治・経済、国際情勢の変化、自然の変化、地域社会での変化を注意深く観察力を持って捉え、興味を持つことです。自分の身の周りで起こる様々な変化に、何故かと思ふに思ふ、現象や変化に対して自分自身の意見や感想を持ち、他人に伝えるというプロセスの確立が、思考や判断に対する個性を形成していきます。個人の思考の積み重ね、即ち個性の蓄積が独創性に繋がり、最終的には創造性を生み出すのです。芸術・文化の独創性・創造性には、その人の持って生まれた才能や能力が重要ですが、人文・社会・自然科学における独創性・創造性の発揮には、自分で考え、自分の意見を持ち、それを個性から独創性・創造性へと展開していく個人の努力と訓練が不可欠です。換言すれば独創性・創造性は、自己啓発により自ら勝ち取ることができます。皆さん、福岡女子大学で教育を受けた過程で、また学生生活のなかで、自分で考える習慣を身に付けたか。学生時代に自分で考え、自分の意見を持つことの訓練が足りなかったと思う学生は、今からでも遅くありません。皆さんは、若く未だ人間として完成者ではないのですから、社会に出て、あるいは新たに大学院の課程に進学してから、自己啓発の訓練を意図的に行ってください。

私達が住んでいるかけがえのない地球上で、現在も、政治、経済、宗教、民族、環境等、様々な問題をかかえ、多くの国間で緊密した関係が続いています。二十世紀には私たちが予想もしなかった速度で科学・技術が発達し、その内容が多岐に亘るため、私達個人が理解できる範囲を遙かに越え、変化についていけなくなったり、科学や技術が人間の倫理を越えてしまった事例が多々ありました。そのような状況では、身体と精神のバランスがとりにくくなり、また他人との間では、心理的抑圧あるいは精神的軋轢が、人間として制御できる範囲を越えてしまい、最終的には、民族的あるいは宗教的理由による国家間の紛争となったり、政治的、経済的理由による国家的破綻へと変化していきます。二十世紀は、戦争で最も多くの人の命が失われた世紀でした。最近の新聞報道されているように、アフリカ、マリ共和国での民族的紛争やアルジェリアで日本技術者の多くが犠牲になったテロ事件、さらに世界中の多くの地域での民族・宗教・経済紛争などで多くの国民が犠牲になっています。人類が、生き物の中で最も優れた知能を生かすことなく、二十一世紀でも二十世紀の人類の過ちを繰り返しているように思えてなりません。勿論、人間として自由な信念と意志に基づく個人の意見や国民の主張と、国や政府の意見が異なることがあっても仕方のない事と思います。私達は、人間的信頼感と人類愛に基づいて行動すべきで、自分の信念に基づいて意見を言い、より良い解決法を提案すべきではないでしょうか。狭い地球上で人間としての尊厳を守り、各国・民族がお互いに尊敬しあい生きていくことの大切さを後世に伝えることができるのは、全て皆さん若い人達の努力と行動力にかかっているのです。若い人達が信念に基き意見を言うことをやめ行動しなくなったとき、人類の正しい方向への変革の停止を意味しており、地球上の国、民族、宗教間の争いを解決できなくなる時です。生活を豊かに、心を豊かに、人間性豊かな世界を築くことができるのは、皆さん若い人達の真摯で、信念に基づく行動なのです。

卒業という人生の希望に満ちた旅立ちの時に、皆さんにお願いしたいことがあります。それは、「志の高い人間」になって欲しいということです。志を高くし、人生に対する目的を持ち、それを努力して実現する人間になって欲しいのです。志を高く持ち、社会を良い方向へ先導していく義務が、皆さんにはあるのです。「高い志」を持つということを広義に解釈すれば、1. 確固たる目的意識と希望、夢を持ち、実現するための努力をする、2. 倫理観を持ち、人類に役立とうと思うこと、3. 未知のことに感動できる、この三つであります。

この中で二番目の倫理観についてお話ししましょう。倫理とは、道徳の規範となる原理ですから、人間が生まれたときから心の中に備わっているべきものです。地球上の全ての人が倫理観を備えていれば、紙に書いた約束事や規則などいらないのです。先ほど申しましたように、近年、科学・技術の発展のスピードが速すぎて、その内容や影響範囲を理解できないまま、ともすれば人間性、倫理観を越えた領域まで科学技術が踏み込む可能性があります。人間の尊厳とは何か、自然現象に対する人間の驕りとは何か、科学技術の社会倫理への影響とは何かを、常に考えることができるよう自己啓発することが重要です。皆さんは、社会的常識、即ち倫理観を身に付けた社会人になるべきなのです。福岡女子大学で教育を受けた皆さんは、「志を高く持ち」礼節を重んじ、人を信頼し、高い理想を実現できる実行力を身に付けられたと思います。若い皆さん一人一人の小さな努力の積み重ねと目的意識を持った行動が、やがて日本に、また世界に人間性豊かな社会を実現させる着実な一歩となるものと信じています。社会に出られても、福岡女子大学で学び身に付けたこと、さらに福岡女子大学の輝かしい伝統を生かし、皆さんの後に続く後輩達への良き道しるべとなるよう、活躍してください。そのためにも、心身共に健康であることが不可欠です。人間として倫理観を備えた大人として、志を高く持って活躍されることを願って、式辞といたします。

「高い志と倫理観」

平成二五年三月二二日
福岡女子大学 理事長・学長 梶山千里